

報道機関各位

## 令和6年 年頭所感

年末31日には町内で住宅火災が発生し、特別警戒中の消防本部・消防署・消防団が消火活動にあたり、被害を最小限に食い止めることができました。年始には、能登半島地震や羽田空港の事故などが相次いで発生し、お亡くなりになられた方々へ慎んで哀悼の意を表します。また、能登地方において被災された方々、今もって避難されている方々へお見舞いを申し上げます。国・都道府県の指揮のもとでの支援体制が動いていますので、県やその他から要請があれば、葉山町からもいつでも応援協力できるよう、準備しております。

さて、新年が明けました。本年も変わらず葉山町をよろしく願いいたします。

昨年は、クリーンセンターの解体や下水道の本管敷設など、葉山町にとって長年の懸案だった事業に大きな節目をつけることができました。また、念願だった中学校給食を開始し、全ての給食にオーガニック調味料を導入するなど、エシカルなまちづくりをベースに、環境貢献や健康増進に力を入れる土台を作りました。その上で次に向かう年として、本年はさらに強く、前に進める気持ちを高めています。

そしてまずは葉山町、99歳。いよいよ100周年に向かう年です。来年の元日に100歳を迎える、前祝いの今年から大いに盛り上がってくださること、文化やスポーツ、葉山の皆様が楽しむイベント、葉山のこれまでを知り、これからを想う機会に、役場も混ぜていただき、様々な催しが行われることをとても楽しみにしています。

一方で、役場は地域の皆様とともに、これからの見据えた大きな課題に向き合います。公共施設について、これまでの議論から具体的な方針を決め、施設の再編に動かなければいけません。これからの葉山のビジョンを明確にして、進めていくこととなります。これには莫大な経費がかかるため、同時に負債も増えることとなります。今の私たちの決断が将来の葉山町民に感謝されることはあっても、決して後悔されることのないよう、大きな責任を果たさなければなりません。

新しい学びと楽しい学校のあり方、その校舎や学区の再編、様々な施設整備。他にも例えば、ペット共生社会の実現や生ごみ処理とその分別収集。喫緊の課題としては路線バスの減便対策も急務です。早急にバスやタクシーの交通事業者と協議を行い、地域の公共交通に対し行政として何ができるのか、また他の支援策で暮らしの移動手段を確保することはできないのか。こうした課題を解決するために、関係者と議論を重ね、具体的な方策をまとめ実行に移していきます。

子どもからご年配の皆様まで、葉山を好きな方々の力と民間の企業や団体の力、そして役場が連携して、100周年をきっかけに、一つになれる町へ。住む幸せ、ウェルビーイングを実感できる、私たちの葉山の素晴らしさに感謝し、さらに魅力を磨きあげます。本年もたくさんの笑顔のため、ともに、よろしく願いいたします。

令和6年 1月 9日

葉山町長 山梨 崇仁